

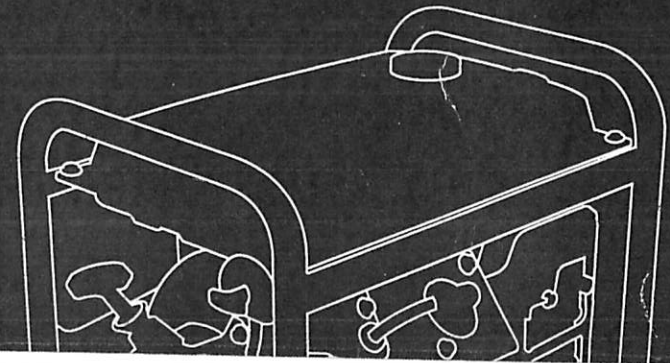
**HONDA**  
汎用製品

**HONDA**  
The Power of Dreams

ポータブル発電機

**EP600H**

取扱説明書



セーブマシン株式会社

営業部長 北村靖治

〒252-0813

神奈川県藤沢市亀井野2574-14

TEL:0466-83-1111

FAX:0466-81-3434

30ZR3702  
00X30-ZR3-7020

© 2004 本田技研工業株式会社  
© 2000.2004.12

ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をお読みください

## ポータブル発電機EP600Hについて

2015.11.10

川島 邦義

今回 発電機が作動しなかった原因はキャブの目詰まりであった。  
キャブの目詰まりの原因として、以下の要因が考えられる。

燃料ガソリンに誤ったものを用いた。

エアクリーナーおよびカバーの取り付けに不備があった。

長期間にわたって運転していなかった。

キャブ内に長期にわたってガソリンが入っていた。

今回は長期間運転をしないため、キャブ内部のガソリン劣化が原因のようであった。  
点火プラグは交換・ガソリンは新規入れ替えた。  
従って修理はキャブのクリーニングとオイル交換である。

### 今後の管理

ポータブル発電機EP600Hの利用について(取扱説明書P.33参照)

3月、6月、9月、12月に運転する(月1回が望ましいが、ガソリン劣化が3か月程度なので)

ガソリン燃料が切れるまで運転する(古いガソリンを消費する、キャブ内のガソリンをすべて使う)

燃料タンク内に残っていても、キャブは必ず空にする

燃料コックレバーを止(OFF)にする

エンジンスイッチを停止にする

新しいガソリン(自動車用無鉛レギュラーガソリン 2.3ℓ)をいれる

※1 現在 購入店(ロイヤルホームセンター)では扱っていないのでHonda発電機サービス店で点火プラグの購入や修理  
オイルはガソリンスタンド、DIYで購入可

※2 今回の修理は志賀産業(株) (藤沢市亀井野2574-14)

# 主要諸元

項目 \ 名称	EP600H	
タイプ	J	
型式	EDPD	
エンジン名称	強制空冷4サイクル サイド	
総排気量	76.4 cm <sup>3</sup>	
内径×行程	46 mm × 46 mm	
タンク容量	2.3 ℓ	
始動方式	リコイル スタータ	
発電機形式	2極界磁回転型	
機体形式	携帯用パイプ フレー	
寸法		
全長	415 mm	
全幅	310 mm	
全高	360 mm	
乾燥質量	22 kg	
出力		
定格出力〈交流〉	450 VA	5
周波数	50 Hz	(
電圧〈交流〉	100 V	
電流〈交流〉	4.5 A	!
電圧調整	コンデンサー補償型	
出力端子	交流 アース式コンセント	

この諸元は予告なく変更することがあります。

## 各部の名称と取扱いをおぼえましょう

### 安全ラベル





発電機を安全に使用していただくために、本機には安全ラベルが貼ってあります。

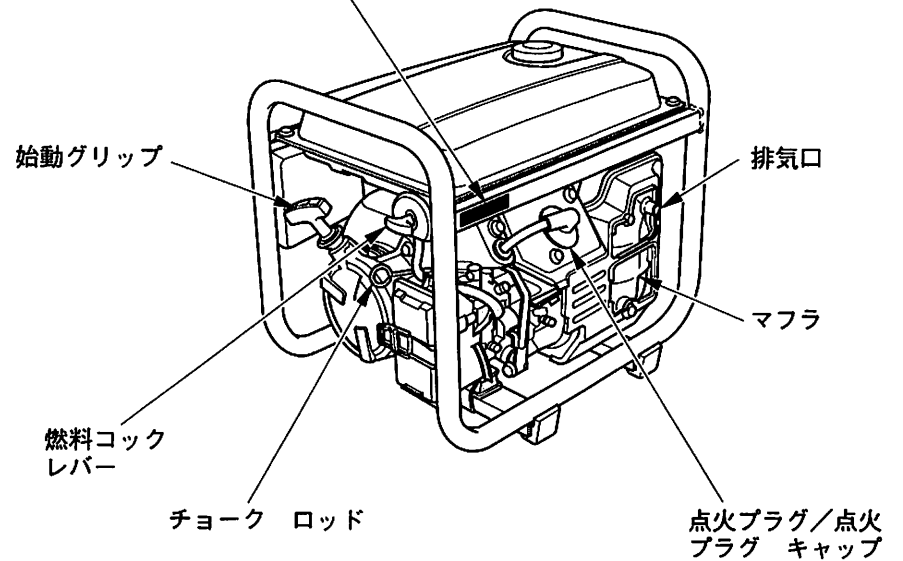
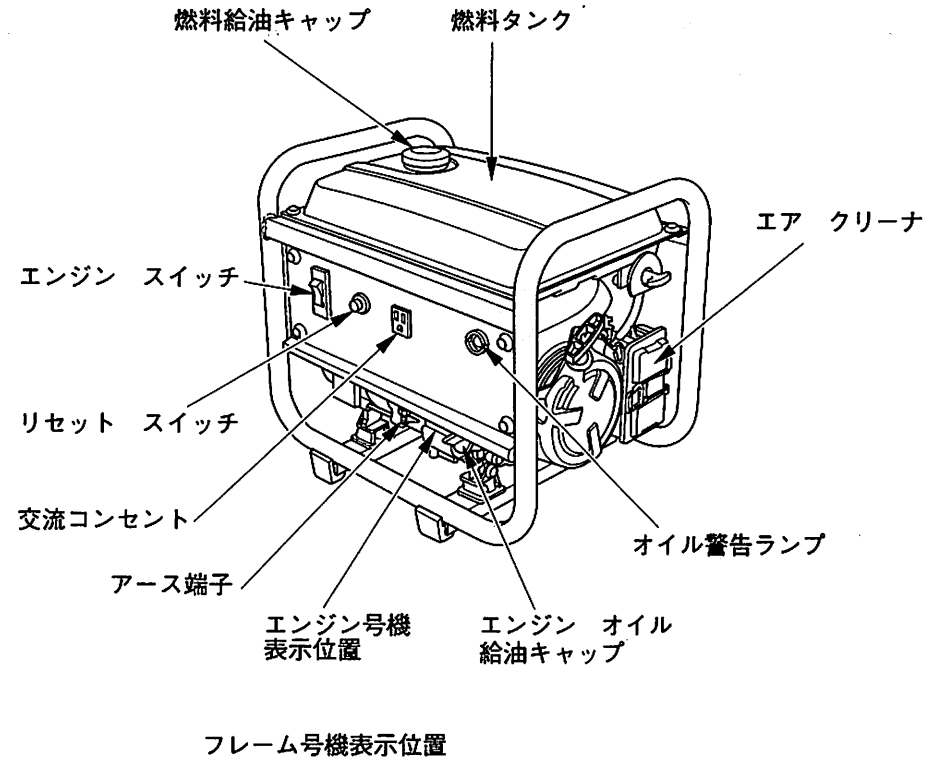
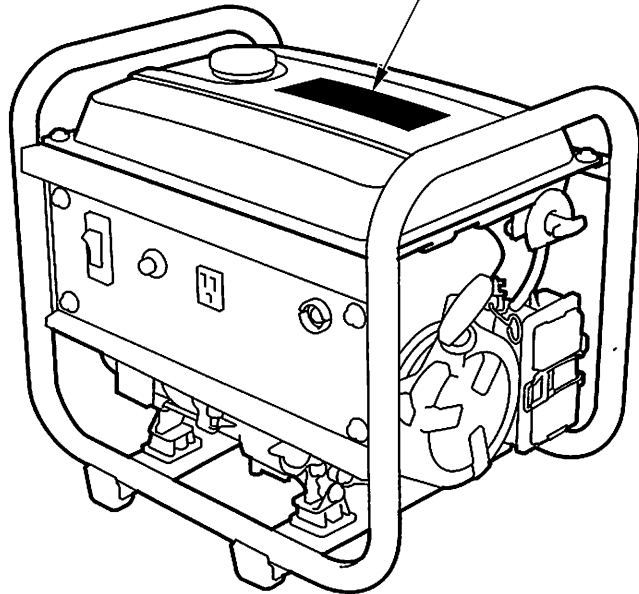
安全ラベルをすべて読んでからご使用ください。

ラベルは、はっきりと見えるように、きれいにしておいてください。

本機に貼ってあるラベルが汚れ、破れ、紛失などで読めなくなってしまうときは新しいラベルに貼り替えてください。また安全ラベルが貼られている部品を交換する場合は、ラベルも新しい物を貼ってください。

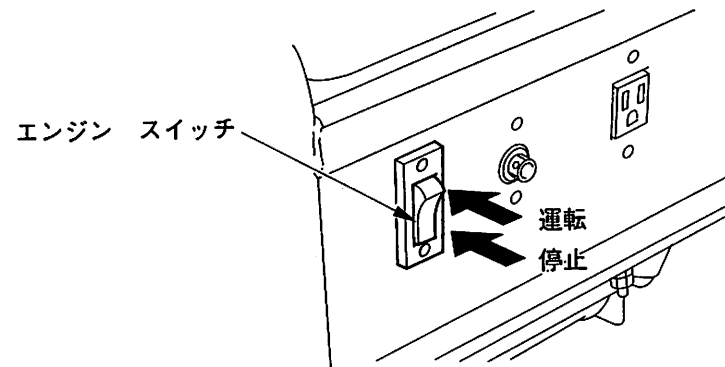
安全ラベルはお買いあげ販売店またはサービス店にご注文ください。

<b>警告</b>		<b>警告</b>	
 <b>火気厳禁</b>	火災や爆発により死傷のおそれがあるので、 ■ 給油時にはエンジンを停止すること。 ■ 給油口に火を近づけないこと。 ■ こぼれた燃料は完全にふき取ること。 ■ 燃料は赤レベル以上に入れないこと。 ■ 可燃物のそばで使用しないこと。	 	感電や火災のおそれがあるので、 電力会社からの 電気配線には絶対に接続しないこと。 感電のおそれがあるので、 ■ 雨中使用禁止。 ■ 濡れた手でさわらないこと。
	排気ガスによる中毒のおそれがあるので、 ■ 換気の悪い所で使用しないこと。 ■ 人・建物・設備に排気を向けないこと。		<b>注意</b>
		事故防止のため、運転前に取扱説明書を読み、 理解して正しく取扱うこと。	



## エンジン スイッチ

発電機を運転、停止するときに操作します。

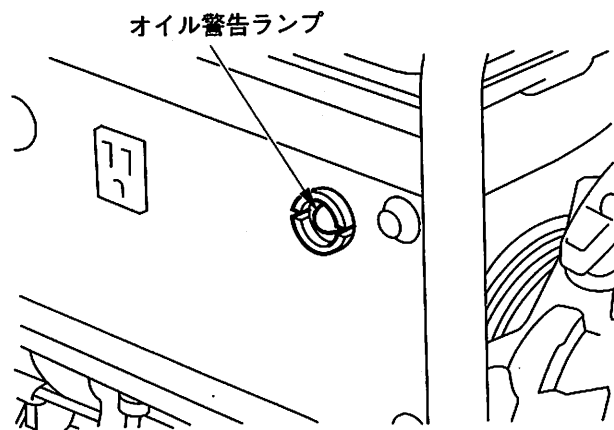


## オイル警告ランプ

エンジン オイル量の不足を警告するランプです。

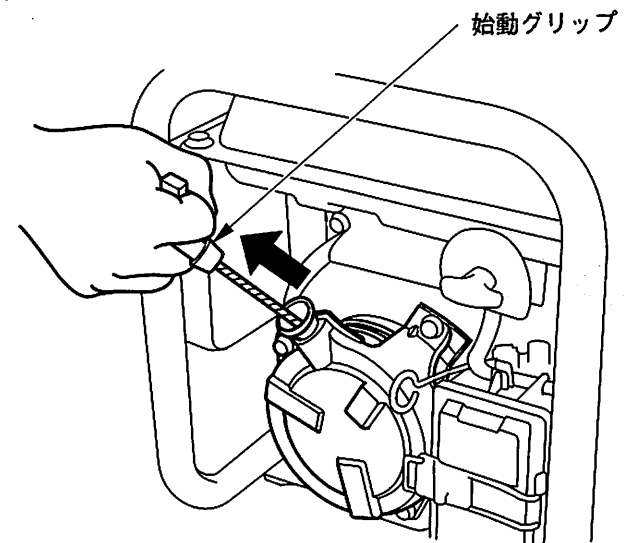
本機のエンジンにはオイル アラート機構(焼付防止エンジン自動停止装置)が内蔵されています。運転中にエンジン オイルが不足すると、オイル警告ランプが点灯し、エンジンは自動的に停止します。

始動グリップを引いてオイル警告灯が点滅する場合は、エンジン オイル量を点検し、補給してください。(点検、補給は17頁参照)  
オイルが規定量入っていても、本機が傾斜しているとオイル アラート機構が働き、エンジンが停止することがあります。



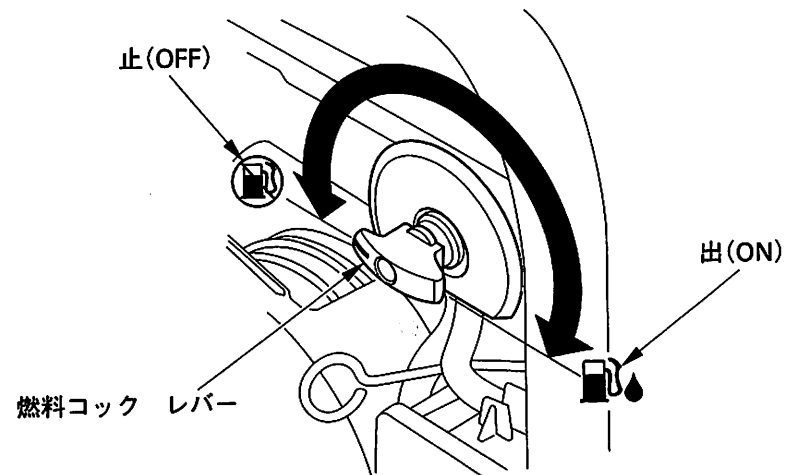
## 始動グリップ

発電機を始動するときに操作します。



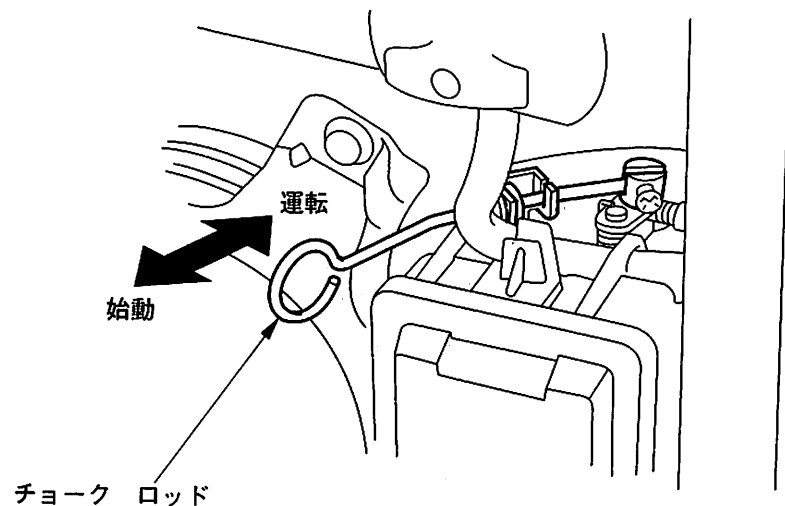
## 燃料コック レバー

燃料タンクからキャブレター(気化器)までの燃料通路を開閉するときに操作します。操作は確実に“出(ON)”、“止(OFF)”の位置に合わせてください。



## チョーク ロッド

始動時にエンジンが冷えている場合にチョーク ロッドを“始動”の方向に引きます。



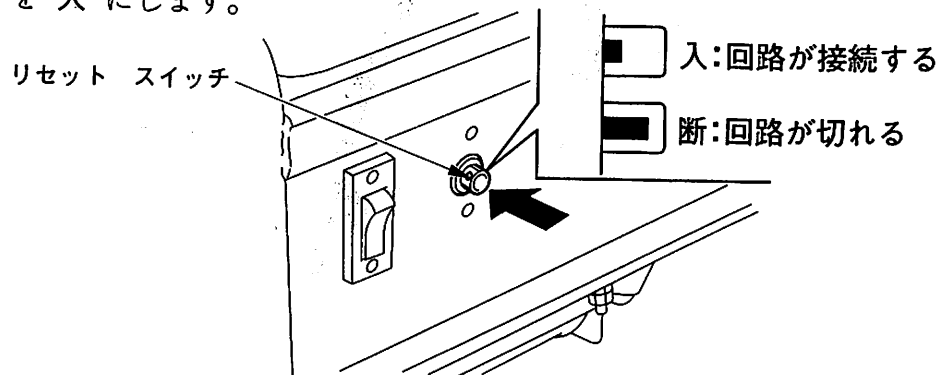
## リセット スイッチ

交流回路を保護します。

発電中に使用器具に異常があった場合や過負荷のときにリセット スイッチが“断”になり、電気が取出せなくなります。

使用する電気器具は必ず本機の定格出力内で使用してください。主要諸元(38頁)、交流出力の使用できる範囲(39頁)を参照してください。

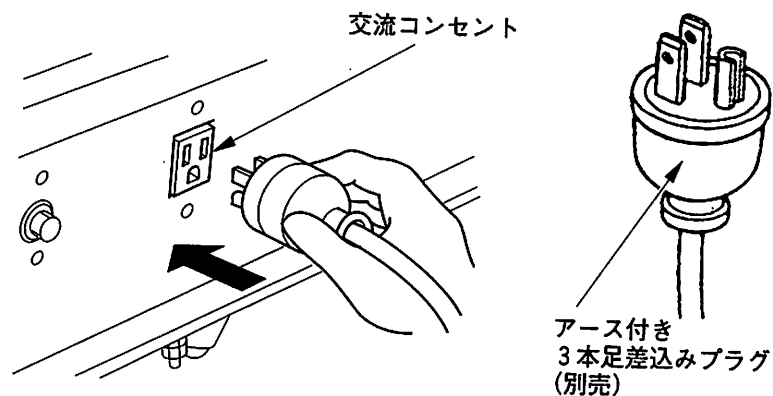
リセット スイッチが“断”になった場合はすぐに“入”にしないで使用器具に異常がないか、また電気の取出し過ぎがないか確認してからスイッチを“入”にします。



## 交流コンセント

交流電気を取出すところです。

コンセントへプラグを差込む場合は、接触不良、抜けのないように確実に行ってください。



差込みプラグは図のようなアース付き3本足差込みプラグ(別売部品)を使用してください。

### ⚠ 警告

燃料は非常に引火しやすく、また気化した燃料は爆発して死傷事故を引き起こすおそれがあります。

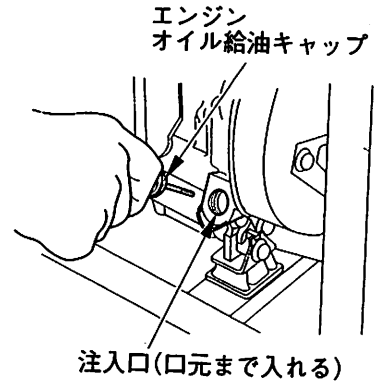
燃料を補給するときは

- ・エンジンを停止してください。
- ・火気を近づけないでください。
- ・換気の良い場所で補給してください。
- ・身体に帯電した静電気を除去してから給油作業を行ってください。静電気の放電による火花により、気化したガソリンに引火しやけどを負うおそれがあります。
- ・本機や給油機などの金属部分に手を触れると、静電気を放電することができます。
- ・燃料はこぼさないように補給してください。万一こぼれたときは、布きれなどで完全にふき取ってください。ふき取った布などは火災と環境に注意して処分してください。
- ・燃料は口元まで入れず所定のレベルを超えないように補給してください。入れすぎるとタンク内の燃料が燃料給油キャップからにじみ出ることがあり危険です。

### エンジン オイルの点検

#### 点検

エンジン オイル給油キャップを外し、規定量までオイルがあるか点検します。汚れや変色が著しい場合は交換してください。(交換方法は28頁参照)



#### 補給

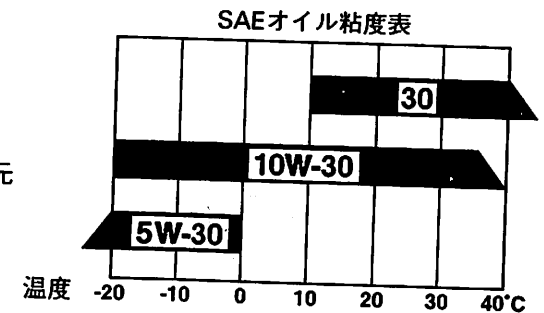
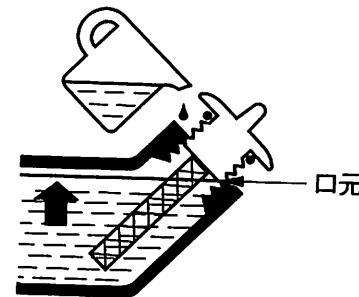
少ないときは新しいオイルを口元まで補給します。

推奨オイル:

(4サイクル ガソリン エンジン オイル)

Honda純正 ウルトラU汎用(SAE10W-30)

またはAPI分類SE、SF、SG級相当のSAE10W-30オイルをご使用ください。



### 取扱いのポイント

- ・低温時(気温10°C以下)は、Honda純正ウルトラU汎用SAE10W-30のオイルをご使用ください。
- ・寒冷時は、API分類SE、SF、SG級相当のSAE5W-30のオイルをご使用ください。
- ・給油キャップは確実に締付けてください。締付けがゆるいとオイルが漏れることがあります。

## 発電機のかけかた

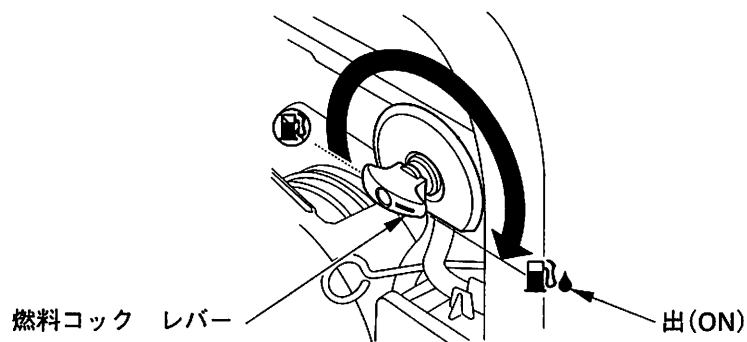
### ⚠警告

屋内や換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。有害な一酸化炭素がたまって中毒を引き起こすおそれがあります。

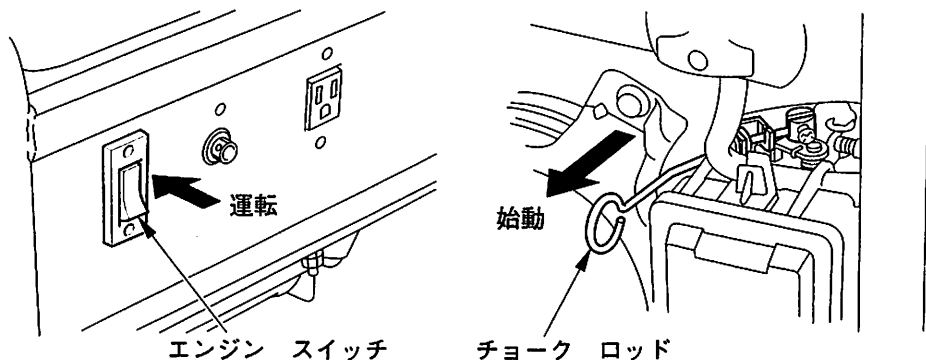
### ⚠注意

発電機のコンセントから使用器具のプラグが抜いてあることを確認してください。使用器具が接続されたまま発電機を始動すると、使用器具が不意に作動を始め思わぬけがや事故を起こす可能性があります。また始動困難や発電性能に異常をきたすことがあります。

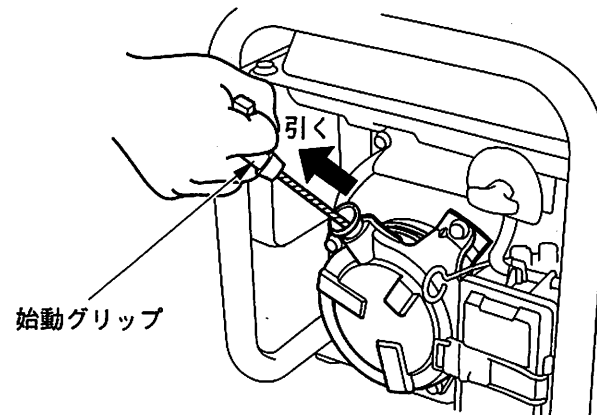
1. 燃料コック レバーを“出(ON)”の位置に合わせます。



2. エンジン スイッチを“運転”の位置に合せます。
3. エンジン冷間時は、チョーク ロッドをいっぱいに引きます。



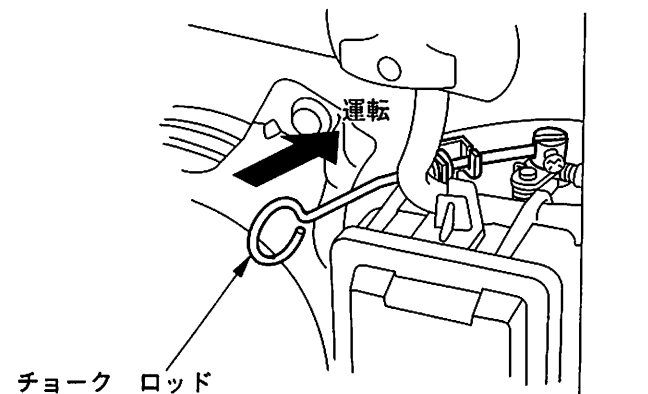
4. 始動グリップを引いて重くなる所をさがし、始動グリップを一度戻してグリップを勢いよく引くとエンジンがかかります。



### 取扱いのポイント

- 始動グリップを引いたまま手を離さないでください。始動装置や回りの部品を破損することがあります。
- 運転中は始動グリップを引かないでください。エンジンに悪影響をあたえます。

5. 始動後エンジンの回転が安定したら、チョーク ロッドを徐々に押し込み暖機運転を行います。





## 電気の取出しかた

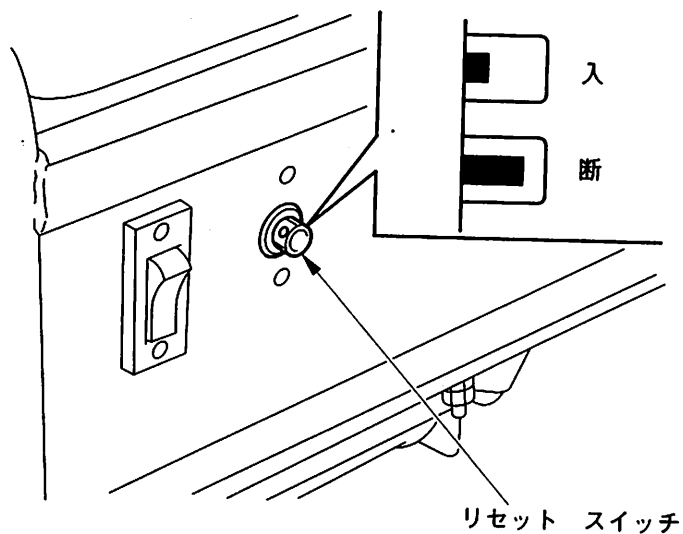
使用器具を接続する前に必ず“安全にお使いいただくためにこれだけはぜひ守りましょう”の項目をよくお読みください。

### ⚠ 警告

電力会社からの電気配線には絶対に接続しないでください。  
火災あるいは人身事故、または本機や使用器具が故障する原因となります。

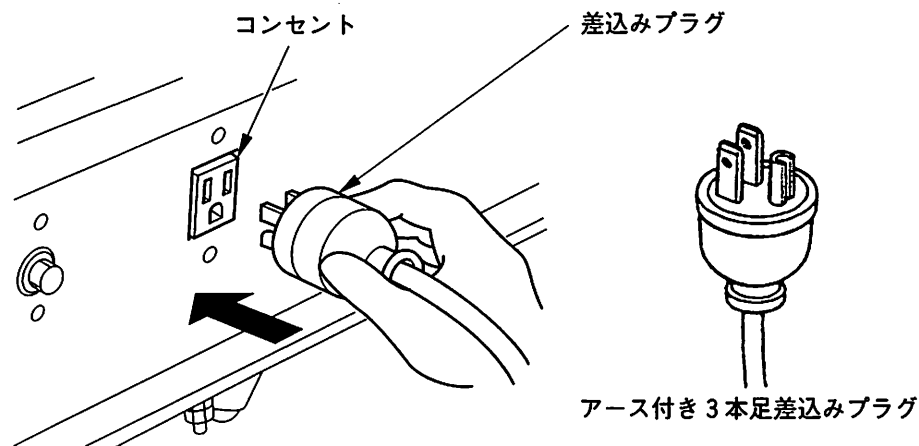
● 発電機の使用に際しては法律や規則がありますので、労働安全衛生規則、消防法、電気事業法などに従ってください。

1. リセット スイッチが“入”であることを確認します。



2. 「発電機のかげかた」に従ってエンジンを始動します。

3. 使用器具のスイッチが切れていることを確認し、コンセントへ使用器具のプラグを確実に差込みます。  
差込みプラグは図のようなアース付き3本足差込みプラグ(別売部品)を使用してください。



### ⚠ 注意

接続する使用器具のスイッチが切れていることを確認してください。  
使用器具のスイッチが入っていると、使用器具が急に作動し、思わぬけがや事故を起こす可能性があります。

4. 使用器具のスイッチを入れます。

### 取扱いのポイント

- 使用器具によっては過負荷となりリセット スイッチが切れます。使用できる範囲は39頁を参照してください。
- リセット スイッチが切れた場合はすぐに“入”にしないで使用器具に異常がないか、また電気の取出し過ぎではないか確認してからリセット スイッチを“入”にしてください。

緊急停止の場合

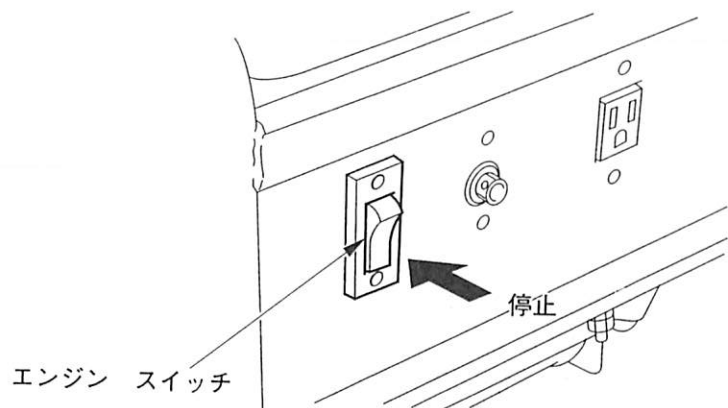
エンジン スイッチを“停止”の位置にします。

通常の停止

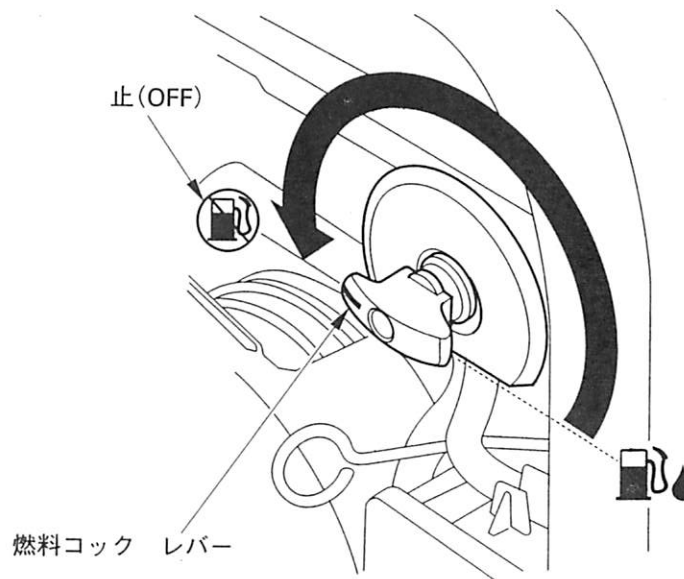
1. 使用器具のスイッチを切ります。
2. 差込みプラグを抜きます。



3. エンジン スイッチを“停止”の位置にします。



4. 燃料コック レバーを“止(OFF)”に合わせます。



警告

発電機を保管するときや点検整備時には燃料漏れを防ぐために燃料コック レバーを“止”の位置に合わせてください。こぼれた燃料に引火することがあります。

## 定期点検を行いましょ

お買いあげいただきましたHonda発電機をいつまでも安全で快適にお使いいただくために定期点検を行いましょ。

### 定期点検整備項目

点検整備項目		点検時期(1)		1か月目	3か月毎	6か月毎	1年毎
		作業前 点検	または 初回 20時間 運転目	または 50時間 運転毎	または 100時間 運転毎	または 300時間 運転毎	
エンジン オイル	点検	○					
	交換		○			○	
エア クリーナ	点検	○					
	清掃				○(2)		
点火プラグ	点検-調整					○(5)	
燃焼室	清掃	300時間運転毎(3)(4)					
燃料タンク 及び フィルタ	点検	○					
	清掃						○(3)
燃料チューブ	点検	1年毎(5)					
吸入、排気弁すき間	点検-調整						○(3)

- (1)点検時期は表示の期間毎または運転時間毎のどちらか早い方で実施してください。
- (2)ホコリの多いところで使用した場合、エア クリーナの清掃は10時間運転毎または1日1回行ってください。
- (3)これらの項目は適切な工具と整備技術を必要としますので、お買いあげ販売店またはサービス店へお申しつけください。
- (4)表示時間を経過後すみやかに実施してください。
- (5)目視点検を行い、必要に応じお買いあげ販売店またはサービス店で交換をしてください。

## 点検・整備のしかた

### 警告

点検は平坦な場所でエンジンを停止し、誤ってエンジンが始動しないようにエンジン スイッチを“停止”位置にし、点火プラグ キャップを外して行ってください。

### 注意

エンジン停止直後は、エンジン本体やマフラなどの温度や、油温が高くなっています。点検・整備はエンジンが冷えてから行ってください。やけどをするおそれがあります。

### エンジン オイルの交換

エンジン オイルが汚れていると摺動部や回転部の寿命を著しく縮めます。交換時期、オイル容量を守りましょ。

《交換時期》 初回：1か月目または20時間運転目  
以後：6か月毎または100時間運転毎

《推奨オイル》 (4サイクル ガソリン エンジン オイル)

Honda純正 ウルトラU汎用(SAE10W-30)

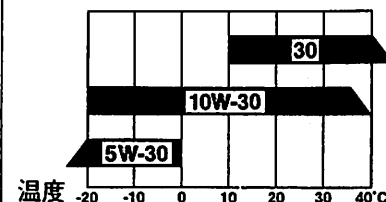
またはAPI分類SE、SF、SG級相当のSAE10W-30オイルをご使用ください。

《規定量》 0.35ℓ

### 取扱いのポイント

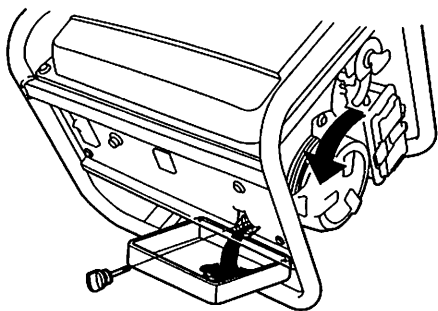
- 低温時(気温10°C以下)は、Honda純正ウルトラU汎用SAE10W-30のオイルをご使用ください。
- 寒冷時は、API分類SE、SF、SG級相当のSAE5W-30のオイルをご使用ください。

SAEオイル粘度表

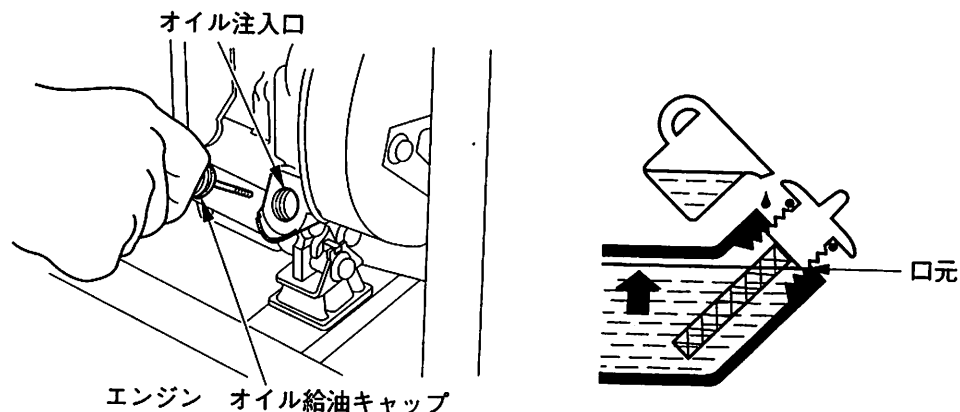


## 交換のしかた

1. エンジン オイル給油キャップを外し、本機を傾けてオイルを抜きます。



2. 新しいエンジン オイルを注入口の口元まで注入します。
3. 注入後、オイル給油キャップをゆるまないように確実に締付けます。



### 取扱いのポイント

- 交換後のエンジン オイルはゴミの中や地面、排水溝などに捨てないでください。オイルの処理方法は法令で義務付けられています。法令に従い適正に処理してください。不明な点はオイルをお買いあげになったお店にご相談のうえ処理してください。
- 外したシーリング ワッシャを再使用するとオイルがにじみ出ることがあります。新しいシーリング ワッシャを使用してください。
- オイルは使用しなくても自然に劣化します。定期的に点検、交換を行ってください。

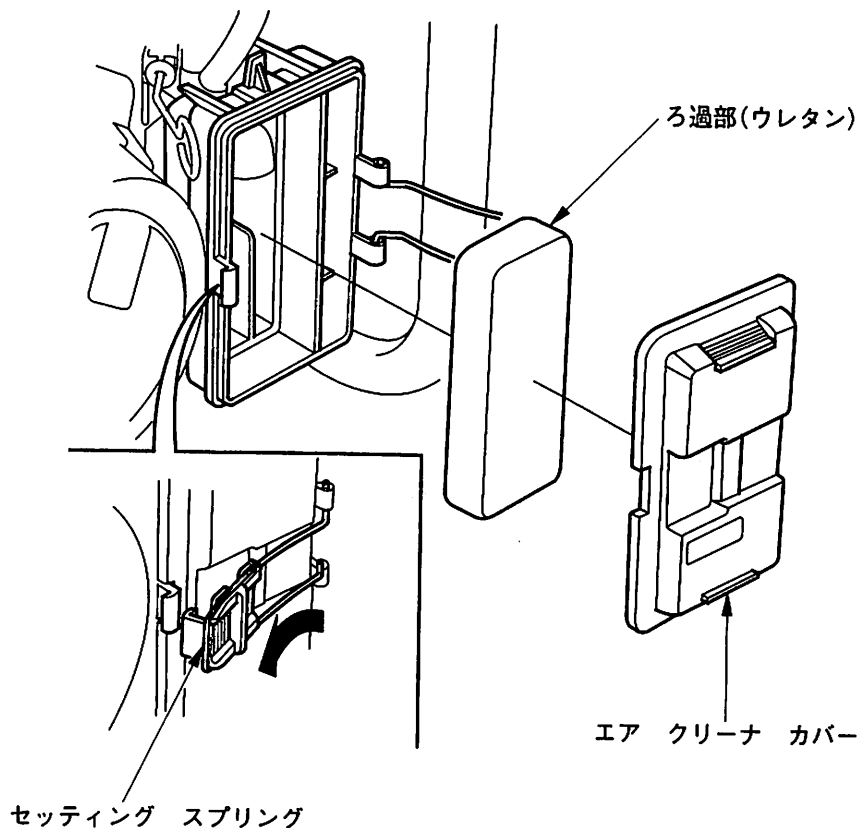
## エア クリーナ(空気清浄器)の清掃

エア クリーナが目詰りをすると出力不足や燃料消費が多くなるので定期的に清掃しましょう。

《清掃時期》 3か月毎または50時間運転毎  
ほこりの多い場所で使用した場合には10時間運転毎または1日1回。

### 清掃のしかた

1. セッティング スプリングの樹脂部を軽く押しながら動かし、爪を外します。セッティング スプリングを開け、エア クリーナ カバーを取外します。
2. ろ過部(ウレタン)を取外します。



## 運搬する場合には

発電機を車両等で運搬する場合には、次の事を必ず守ってください。

1. エンジン スイッチを“停止”の位置にします。
2. 燃料タンク内の燃料を抜き取ります。(35頁参照)
3. 燃料タンク キャップを確実に締付けます。
4. 燃料コック レバーを“止(OFF)”にします。
5. 発電機が落下、転倒、破損等しないような場所を選んで積載し、ロープ等でしっかり固定します。
  - 運搬中に発電機を落下させたり衝撃を与えないでください。また発電機の上に重量物をのせないでください。

### ⚠ 警告

- 燃料を入れたまま発電機を車両に積載し運搬しないでください。運搬による振動等で燃料が漏れる場合があります。
- 車室内やトランクに発電機を積んだまま、直射日光の当たるところや高温となる場所に長時間放置しないでください。車両の内部が高温になり、燃料が気化して引火しやすい状態になり危険です。
- 車のトランクに発電機を積んだまま長時間悪路を走行しないでください。故障や損傷の原因となります。

### ⚠ 注意

燃料コック レバー、コントロール パネルにロープやロープ フック等を直接かけないでください。

## 長期間使用しないときの手入れ

長期間運転しない場合、または長期間格納する場合は次の手入れを行ってください。

### ⚠ 注意

エンジン停止直後のエンジン本体やマフラなどは非常に熱くなっています。やけどをしないように、各部が十分に冷えてから作業を行ってください。

1. 発電機各部の清掃を行います。

### ⚠ 警告

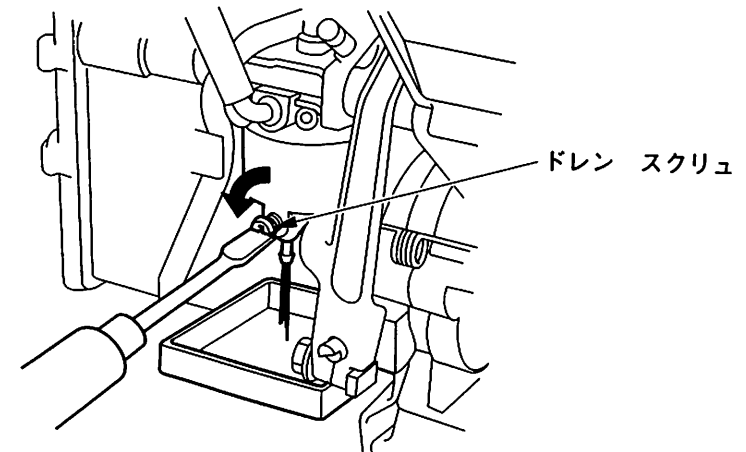
発電機を水洗いしないでください。電装部品の故障やショートを起こす可能性があります。また湿気や凍結により使用時に感電するおそれがあります。

2. エア クリーナを清掃します。(清掃:29頁参照)
3. 燃料タンク、キャブレター内の燃料を抜きます。

### 取扱いのポイント

燃料は自然に劣化します。必ず抜いてください。

- 1. 燃料コック レバーを“止”にし、手押しポンプで燃料タンクの燃料を容器に入れます。
- 2. 燃料コック レバーを“出(ON)”にして、キャブレターのドレン スクリューをゆるめて燃料を容器に受けます。



お客様控

フリガナ	姓 ホシダ 名 テルオ
お客様名	本多 輝雄 様
〒	252-0045 神奈川県 神奈川
ご住所	藤沢市辻堂東海岸2-9-10 (辻堂東海岸2丁目町会)
電話番号	0466-35-2120

お客様記入欄  
お客様販売記録へ記入

西暦 2007 年 11 月 2 日	購入年月日
EP600H	①製品名
EZED アルファベットの記入下さい	②型式
1005105 7桁の数字をご記入下さい	③機体番号
お買上げ日 19 年 11 月 2 日	販売店様記入欄
藤沢市辻堂新町4-1-1 湘南モール FILL内	
ロイヤルホームセンター 藤沢店 TEL 0466-31-6311	

< 3枚複写 >

必ずお読みください。

〈お買い上げいただいた販売店におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて〉

1. 個人情報の利用目的について

左記の販売店(以下、本販売店といいます。)は、左の各欄記載のお客様の個人情報及び今回お買い上げいただいた商品に関するお客様とのお取引履歴などのお客様の個人情報について、次の目的に利用させていただきます。

- (1) お買い上げいただいた製品に万が一不具合があると考えられる場合、リコール、改善対策、サービスキャンペーン及び無料点検のご案内
- (2) お買い上げいただいた販売店の接客態度、商品の使い心地、アフターサービスに対するご満足度などについてのアンケートの実施
- (3) 本販売店の取り扱う商品のご案内の送付

2. 個人情報の第三者への提供について

(1) Hondaの安心補償制度「Ho!」が適用される事故が発生した場合、本販売店は左の各欄記載のお客様の個人情報を引受保険会社、保険代理店に提供しますのでご了承ください。引受保険会社、保険代理店へのお客様の個人情報の提供にご同意頂いたうえで、お客様記入欄にご記入ください。

(2) 本販売店は、左の各欄記載のお客様の個人情報及び今回お買い上げいただいた商品に関するお客様とのお取引履歴などのお客様の個人情報を本田技研工業株式会社に提供することがありますので、ご了承ください。同社へのお客様の個人情報の提供にご同意頂いたうえで、お客様記入欄にご記入下さい。

名	
番号	

西暦 20 年

アルファベット	
7	

お買上げ日 19 年 11 月 2 日

藤沢市辻堂 湘南モール FILL内

ロイヤルホームセンター 藤沢店

TEL 0466-31-6311

保証書の「販売店」欄に  
お貼り下さい。